

国際ロータリー第2560地区
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の
スローガン

「ロータリーを識り、
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に
奉仕する
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム
2560地区ガバナー 田中 政春
高田ロータリー会長 本山 秀樹
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

第10回例会 ■ 9月9日(金)

No.10

会長挨拶 ● 本山 秀樹



皆さんこんにちは

先日6日に「国宝謙信公太刀収集市民会議」の発会式があり出席してきました。上越商工会議所から副会長就任の依頼があり、理事会の承認を得て快諾しました。直江津クラブ、越後春日山クラブの会長も副会長に就任しています。上越市には、上杉謙信公の居城であった春日山城跡など史跡はありますが、謙信公ゆかりの品は、ほとんど上越にはありません。このたび、謙信公愛蔵の名刀を収集することができれば420年ぶりに上越に戻ることになります。この千載一遇のチャンスを生かし市民が中心になって市民会議を作り、募金活動することを目的として作られました。この太刀は、山鳥毛と言われ刃文がまるで山鳥の産毛を並べたような細やかな模様になっているため、こう呼ばれています。元々関東管領上杉家のもので、謙信公に贈られたものだそうです。鎌倉時代の備前福岡一文字派の作と考えられています。

評価額が3億2千万と言われ、10月から一般の寄付金の募集を開始し、「ふるさと納税」の準備

も進めるとのことです。会員の皆様からも多くのご寄付をお願いします。

出席報告

出席率 98.04%

メイクアップ

高坂光一君 (9/7頸北RC)

セレモニー

米山記念奨学金贈呈 (白 麗萍さん)

委員会報告

親睦委員会——9月会員お誕生日 各お祝い

会員インフォメーション

橋本眞孝君——赤い羽根共同募金協力をお願い

幹事報告

配布物：週報No.9、赤い羽根共同募金について

回覧物：にいがた被害者支援センターだより

報告：赤い羽根共同募金協力をお願い (例会中に27,000円集まりました)

卓話

異文化間コミュニケーション：理解と誤解



新潟県立看護大学助教 エルダトン・サイモン 先生

対面による異文化接触は、移住、旅行、ビジネス、テクノロジー、国際教育を通じて拡大してきている。また世界中の人々は、ワールド・ワイド・ウェブを介して、ますます繋がっている。文化的・言語的背景の異なる人々と効果的かつ適切にコミュニケーションできる人の必要性がさらに高まっている。異文化間コミュニケーションは、多くの人にとって地域の暮らし、仕事や勉強、レジャーにおける日常生活の重要な一部である。日本で働いている外国人や国際結婚をして日本に住んでいる家族にとっては、異文化間コミュニケーションが何よりも重要な暮らしの基盤である。しかし、異なる文化の人と接することは複雑であり、誤解を引き起こす可能性がある。異文化間コミュニケー

ションを十分に機能させるためには、語学力及び社会文化的な知識と能力の両方が必要とされる。異文化におけるコミュニケーションで言葉の間違いがあった場合、その間違えた人の知識不足として解釈され、赦されることが多い。しかし、社会文化的な相違や間違いと解釈されることをすれば、人間性や人格が疑われることもある。異文化間コミュニケーション能力を育成するために視野を広げることが必要である。語学力を向上させることに集中するだけではなく、人間の様々な異なる思考を受け入れることを学ぶことも大切である。



ロータリーの友 9月号より

P10～お気づきですか？『ロータリーの友』が少し変わりました

なんとなく少し長くなったのは気が付いていましたが…。7月号よりA4変形判（280mm×210mm）からA4判に変わりました。1953年の創刊時はB5判、2002年7月からA4変形判になりました。当時「いきなりA4判では大きすぎる」というご意見があったそうです。今回A4判になって紙の無駄も減ることです。

P15～SOUTHERN COMFORT 南部の癒やし

2017年に国際大会が開催されるアトランタが紹介されています。写真をふんだんに使った紀行文風の特集で「ロータリーの友」らしくない仕上がりと なっています。

P28～識字 ブルキナファソの成人女性のために

第2570地区（埼玉北西）が取り組んだ、アフリカ中西部に位置するブルキナファソの女性の識字率向上に関する取り組みのレポートです。ブルキナファソの成人の識字率は28.7%、うち女性はわずか16.7%だそうです。日本人は普段、識字率について意識することはありませんが、P50でもカルヤン・バネルジーロータリー財団管理委員長が識字に関連した寄稿しており、世界的には大きな問題だということわかります。